

# 地域おこし協力隊が 三原で過ごす日々

## みはライフ!

市外から移住した9人の隊員が、地域課題の解決に向けて活動中!



今月の担当は  
明石 幸一郎  
です!



▲三育学院の生徒たちと活動中。  
イベント当日は撮影もしてくれます。

【出身】神奈川県葉山町  
【趣味】自転車、登山、  
読書、ドライブ  
【活動エリア】市内全域  
【活動テーマ】自然エネルギーの活用と教育、防災

### 三原の環境を学ぶ! 「生きた教育」の場づくり

「なんで三原に来たん?」と聞かれるたび「人の良さと、山・海・まちがそろそろ環境」と答えています。着任から4カ月、市内全域を駆け回る日々を過ごしています。大学院で学んだ建築環境学の知見を生かし、教科書だけではない三原の環境そのものを教材にしたワクワクする学びの場づくりに挑戦中です。

現在は、大和町の広島三育学院とサマーキャンプを準備中! 熱写真を使ったクイズや、計測機器で暑さ・涼しさを、測る・知る体験学習を企画しています。身近な環境の観察を通して、子どもたちが「感覚と数値」をつなげて学べる内容です。活動内容はぜひnoteをご覧ください!



▲放射温度計や熱写真などから、実感と数値をつなげ、暑い・涼しい要因を可視化。

地域おこし協力隊の活動は市公式noteで!



☎ 地域企画課  
TEL 0848-67-6011

なるほど!



# れきみん・虎の巻

とらのまき

歴史民俗資料館 うきしろミュージアム

◆文化課が市の文化財などを分かりやすく紹介◆

## 小早川家資料、預かりました

① 新たな寄託資料を公開しています

小早川家から新たに、貴重な書画や調度品、印刷物などの資料121件を市へ寄託いただきました。

7月7日(火)から、寄託資料のうち「御座備図」など5件を展示します。「御座備図」は、最上段の中央に毛利元就を描き、続いて主だった家臣団を配した集団肖像画です。人物名が記されていませんが、資料向かって左側の上から2番目が小早川隆景と考えられます。10月4日(日)まで展示室3で展示しています。

② 出前講座「資料館へ行ってみよう!」

「生涯学習まちづくり出前講座」は、市内の団体に、市職員などが講師となつて市政情報などを届ける講座です。令和8年度から「資料館へ行ってみよう!」という新しいメニューを用意し、歴史民俗資料館の見どころを分かりやすく紹介しています。NHK大河ドラマでも取り上げられている豊臣家と小早川隆景の関係などもお話しします! 文化課へ申し込みをお待ちしています。

③ 学芸員のこだわり解説

奇数月に学芸員が「得意分野」を熱く解説する「学芸員のこだわり解説」。12日(日)10時30分からは、大友宗麟書状や川口家文書など、「三原市所蔵の古文書・古典籍」について話します。ぜひ参加してください!

☎ 文化課

TEL 0848-64-9234  
FAX 0848-67-5912



毛利元就

小早川隆景



▲御座備図、小早川隆景と考えられる武将



元気な骨を育てよう

令和8年度から「みはら骨育プロジェクト」を推進しています。健康寿命を延ばし、いつまでも自分らしく暮らせるまぢをめざして、骨の健康づくりに力を入れていきます。

また、食事の面からも骨の健康を応援したいと考え、中高生を対象に「骨育レシピコンテスト」の募集を開始しました（関連10ページ）。カルシウムやたんぱく質などを意識しながら、家庭でも楽しく取り組める内容にしていきたいと思いますので、ぜひ多くの皆さんに参加してほしいです。

この「骨育」について市民の皆さんに話をすると、大変多くの反響をもらいます。特に「家族や親族が骨折をきっかけに寝

たきりになった」「要介護状態になった」という実体験を語る人が少なくありません。骨折は、単なるけがではなく、その後の生活を大きく変えてしまうことがあります。

骨は、身体を支える大切な土台です。しかし、その強さは普段なかなか意識しにくいものです。だからこそ、自分の骨の状態を確認し、日頃から食事や運動を通じて骨を育てていくことが大切です。いつまでも元気に暮らしていくために、ぜひ一緒に「骨育」を進めていきましょう。

その取り組みの一つとして、バスによる集団健診において、40歳から70歳までの市民の皆さんを対象に、骨粗しょう症検査を新たに始めます。骨の状態は、自分ではなかなか分かりにくいのですが、検査によって確認できる。早めに自分の骨の状態を知ることが、将来の健康を守る第一歩です。



▲骨の検診の様子



▲市庁

Kia Ora!  
MIHARA

ニュージーランド出身の  
国際交流員コラム

● Vol.34 ●



CIR (国際交流員)  
ジェイク・ロコブ

知ってる?

ニュージーランド

子どもへの体罰を最初に禁止した国々

1979年、スウェーデンは世界で初めて子どもへの体罰を法律で禁止しました。ニュージーランドでは2007年に「刑法59条を代替する刑法改正法案」が可決され、英語圏の国として初めて、子どもへの体罰が違法になりました。

Information for foreign  
nationals in Mihara

◀ CIRが三原の  
魅力などを発信中! ▶

Instagram & Facebook



◀ Instagram

Facebook ▶



「鉱山ではなく学校に行きたい!」アメリカで児童労働者たちがデモをした写真(1903年)

Anonimo, Public domain, via Wikimedia Commons

子どもの権利と福祉について学ぶ

1800年代のニュージーランドでは、子どもに特別な法的権利はなく、重労働や厳しいしつけ、不十分な医療などの社会的不平等に直面していました。しかし1870年代後半から児童福祉への関心が高まり、幼稚園の導入や女性児童保護協会の設立(1893年)など、現在の福祉制度につながる改革が進められました。私は歴史の授業で1900年代初頭の児童労働を学び、教科書の写真(上の写真)を見ながら、当時の子どもたちの厳しい生活環境を知って、自分が当たり前だと思っていた教育や食事などが、十分に与えられていなかったことに衝撃を受けました。そして現在は子どもたちの暮らしのために、社会が常に変わり続けていることを実感しました。